

中国語の談話標識「这么说吧」と英語の定型表現 *so to speak* の対照

－関連性理論の観点から－

龐龍傑 (名古屋大学大学院 lonivy@gmail.com)・堀江薫 (名古屋大学)

1. はじめに

関連性理論(Relevance Theory)は、これまでも英語をはじめとする様々な言語の談話標識や接続表現の手続き的意味(procedural meaning)を明らかにしてきた(Blakemore 1996; Rouchota 1998)。英語の定型表現 *so to speak* は、話し手がある表現を選択することを示す形式であり、中国語ではこれに対応する形式として「这么说吧(「このように言おう」)」がある。「这么」は *so* と、「说」は *speak* と対応し、「吧」は語調を和らげる文末の助詞である。本研究は関連性理論の観点から両者の類似点と相違点を考察する。

2. 表意と推意

関連性理論は、話し手が伝達する想定を「表意」と「推意」に分類する。表意とは「発話によってコード化されている不完全な概念表示(論理形式)の一つから推論によって発展させられた意図明示的に伝達される想定」であり、推意とは「意図明示的に伝達される想定で、表意でないもの。つまり、語用論的推論プロセスによってのみ導出される、伝達される想定。…話し手によって意図された文脈想定あるいは文脈含意」である(Carston 2002; 内田ほか訳 2008)。

so to speak は“The speaker chooses to speak so, i.e., to use this particular wording”という表意を伝達している(龐 2019)。「这么说吧」も同様に、“The speaker chooses to speak in this way”という表意を持ち、話し手が特定の表現を選択して話すことを伝達する。例えば、

(1) If you were given a ‘*carte blanche*’ **so to speak**, what would you go for?

(2) “**这么说吧**: 和他坐在一间屋子里, 屋里就像有两个女人。

So speak-PTL: COM him sit-LOC one room-LOC, room-LOC right like there be two woman.
不, 一个女人, 一个唠叨老婆子!”

NEG, one woman, one nagging old biddy!

To speak in this way: sitting together with him in the same room is like there are two women in the room. No, one woman, a nagging old biddy!

例(1)において、話し手は *so to speak* を用いて *carte blanche* というフランス語の表現を選択したことを示している。同様に、例(2)において、話者は、「这么说吧」を用いて「女みたい、うるさいババア」という言葉を、彼氏のことを聞き手に分かってもらうために選択することを示している。

しかし、推意において両者には違いが見られる。*so to speak* が用いられる文においてはポライトネスを含む推意が伝達される(龐 2019)。例えば、

(3) No, if Oates wants to make lumbering passes at beautiful actresses that’s his affair, **so to speak**, but he should leave their prose out of it.

例(3)では *that’s his affair* は *that’s his business* という意味であるが、話し手は *so to speak* を用いて *affair* は不倫という意味も存在することを暗示し、“the speaker trusts the hearer to see the ambiguity”という聞き手に向けた信頼とポライトネスを含む推意を伝達する。関連性理論においては、意図明示的の刺激には、受け手がそれを処理する労力に見合うだけの関連性があると想定される。例(3)において *affair*

から「不倫」という意味が伝達される保証は *so to speak* によってもたらされる。*so to speak* は、そこに関連性があることを指摘し、聞き手にその関連性を探させ、最終的に *affair* の「不倫」という二次的意味に気づかせることによって、労力に見合うだけの認知効果をもたらす。

「这么说吧」には、前の文を後続文でわかりやすく解釈することを標識する機能がある（司 2009, 曹 2014）。「这么说吧」の推意は、概ね“the speaker believes that if he speaks in this way to explain, the hearer would understand what he means”あるいは“the speaker believes that the following utterance is a faithful representation of what is said previously”である。例えば、

(4) 女人 花 男人 钱, 那是… (这么说吧,) 男人 挣 女人 花,

Woman spend man money, that-COP … (to speak in this way,) man earn woman spend,

那是 社会分工 不同。

That-COP social division of labour different.

That women use men's money is, **to speak in this way**, that men make money and women use it. That is the difference of social division of labour.

例 (4) において、「这么说吧」は、話し手は、「女は男のお金を使う」ことを、後続の「男は稼いで女は使う」を用いて解釈し、「社会的分業」ということを提示している。この場合、話し手は「男は稼いで女は使う」という言葉を用いれば聞き手はよく理解してくれると想定している。

so to speak の推意は、ポライトネスなどの認知効果があるのに対して、「这么说吧」は、単に聞き手の注意を喚起し、後に来るのは分かりやすい解釈であることを聞き手に伝達するのみで、ポライトネスのような他の認知効果がないため、両者は関連性を導き出すプロセスが異なることが観察される。

3. *so to speak* と「这么说吧」の比較

3.1 情報の焦点の有無

so to speak と「这么说吧」の相違は、それぞれが伝達する推意が異なる点である。*so to speak* は表現の選択に関係し、話し手がある特定の表現を選ぶことを示している。だから、*so to speak* はいつも発話のある具体的な部分に焦点を置いている。*so to speak* によって伝達されたポライトネスという推意は、話し手がある特定の表現を使い、聞き手は話し手がその表現のどの部分に注意して欲しいかを見つけることによって、導き出される。例 3 が示したように、*so to speak* は *affair* という部分に焦点を当て、そこから推意が生み出される。*so to speak* の場合は、話し手が言い換えや明確な表現を提供しておらず、聞き手は話し手の言葉遣いの中で注意すべきところに気づき、自力で推意を引き出すことが可能になる。

一方、中国語の「这么说吧」は言葉遣い、つまり、特定の表現にフォーカスするものではなく、命題の内容に関わるものである。例 4 が示したように、誤解を起こさないように、「这么说吧」の後に来るものを用いて前述したものをさらに説明する。つまり、間違った推意を回避するように説明を補う。そこから、中国語の「这么说吧」は一種の言い換えマーカー (reformulation marker) であると考えられる。

3.2 *so to speak* と「这么说吧」の機能

so to speak が主節文をコメントし、メタ言語的機能を果たしていることは多くの学者によって論じられている (Quirk et al. (1985)、Brinton (2008))。例えば、Quirk et al. (1985) は、*so to speak* が一般的にヘッジとして使われていると述べている。龐 (2019) はさらに *so to speak* のメタ言語的機能は、主節にある表現が注目に値するところをコメントすると提示した。例えば、例 1 において、*carte blanche* という表現を *so to speak* で目立てて、聞き手はそこから関連性を探し、推意を引き出す。

中国語の「这么说吧」の場合は、言い換えマーカーとして、メタ言語的機能ではなく、メタ概念的機能を果たすと考えられる。「这么说吧」を考えると、言い換えマーカーである *that is* に関する Blakemore の主張が参考になる。Blakemore (2009: 14)は、“*that is*-reformulations are meta-conceptual in the sense that they communicate information about the conceptual content of their host”と述べている。例えば、

(5) What I think we need, you see, is a room with a table, that is, a table which students could sit around.

例5において話し手は *that is* という部分を用いて TABLE という概念を敷衍して説明している。一方、聞き手は *that is* 以下の補足から、*a table* が小さくて低いものではなく十分大きくて高いものであるという話し手の伝達意図を回復する。

中国語の「这么说吧」も上述のように言い換えマーカーとして誤解を起こさないように、話し手は「这么说吧」の後に来るものを用いて、前述した文に対して概念を補足し、明確に物事を伝える。例(4)が示したように、「这么说吧」は、「女人花男人钱」という部分を「男人挣女人花」を用いて言い換えることをマークする。「男人挣女人花」の方は「女人花男人钱」が表す概念を更に詳しく述べ、男女の「社会的分業」という概念を明確に伝達する。ここで前の「女人花男人钱」と後ろの「男人挣女人花」は、解釈的類似性 (interpretive resemblance) がある。言い換えは解釈的類似性によって分析できる (Blakemore 2007:319)。

3.3 *so to speak* と「这么说吧」の真理条件

真理条件の観点から見ると、*so to speak* と「这么说吧」は、それ自身の真理条件を持っている。例えば、*so to speak* も「这么说吧」も、次のように否定できる。

(6) No, that's not true, you cannot speak so. / You cannot use this particular wording to speak.

(7) 不，你这么说不。/你不能这么说。(No, that's not true. You cannot speak in this way.)

Blakemore(1996)は *that is* が含まれる文を *if* 条件文に入れることによって、*that is* 節が文レベルで真理条件的でないことを検証した。*so to speak* と「这么说吧」が含まれる文を *if* 条件文に入れてみると、次のようになる。

(8) But at the same time he was both transmitter and receiver, *so to speak*.

(9) If at the same time he was both transmitter and receiver, *so to speak*, then he would have become a great artist.

(10) 我 不知道 该怎么 跟 你 说, 你的 院子里 有 只 硕鼠,
I NEG-know how COM you speak, you-GEN garden-LOC there be a big mouse,
这么说吧, 连 你的 猫都 怕它。
to speak in this way, even you-GEN cat fear it.

I don't know how to tell you, there is a big mouse in your garden, to speak in this way, even your cat is afraid of it.

(11) 我 不知道 该怎么 跟 你 说, 如果 你的 院子里 有 只 硕鼠,
I NEG-know how COM you speak, if you-GEN garden-LOC there be a big mouse,
这么说吧, 连 你的 猫都 怕它, 你 怎么办?
to speak in this way, even you-GEN cat fear it, you what to do?

I don't know how to tell you, if there were a big mouse in your garden, to speak in this way, even

your cat was afraid of it, what would you do?

例 (9) と例 (10) が示したように、*so to speak* と「这么说吧」はそれ自身の真理条件を持つにも関わらず、その真理条件は主節文の真理条件に影響を与えない。つまり、文レベルで *so to speak* と「这么说吧」は真理条件的なものではない。Ifantidou (1993) の二つの談話単位(“parenthetical constituents can be treated as separate discourse units with their own truth conditions and relevance” “intuitions about the truth conditions of the utterance as a whole will be intuitions about the subpart of it which makes the major contribution to relevance”) という観点から、主節の真理条件に貢献しない *so to speak* も「这么说吧」も主節から独立した表意を伝達すると考えられる。

4. おわりに

so to speak と「这么说吧」は同じ表意を持つにも関わらず、関連性の実現は異なり、それぞれの推意を伝達する。*so to speak* にはフォーカスがあり、主節にある特定の表現に注目し、そこから関連性を導き出す。一方、「这么说吧」はフォーカスがなく、後述する部分を用いて前述した概念に対して解釈する。*so to speak* は言葉遣いに対してコメントするメタ言語的機能を果たす挿入表現で、「这么说吧」は解釈的類似性に基づくメタ概念的機能を担う言い換えマーカーである。*so to speak* と「这么说吧」は同じくそれ自身の真理条件を有するが、それは文レベルで主節の真理条件に影響を与えず、それぞれ主節から独立した表意を伝達する。

略語一覧：COM(Comitative) COP(Copula) GEN(Genitive) LOC(Location) NEG(Negation) PTL(Particle)

参考文献

- Blakemore, Diane. (1996) “Are apposition markers discourse markers?” *Journal of Linguistics* 32.325-47.
- . (2007) “‘Or’-parentheticals, ‘that is’-parentheticals and the pragmatics of reformulation”. *Journal of Linguistics* 43-2, 311-339.
- . (2009) “On the relevance of parentheticals”. *Actes d’IDP* 9.9-17.
- Brinton, Laurel J. (2008) *The comment clause in English*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Carston, Robyn. (2002) *Thoughts and utterance: The pragmatics of explicit communication*. Blackwell.
- Ifantidou-Trouki, Elly. (1993) “Sentential adverbs and relevance”. *Lingua* 90.69-90.
- Quirk, Randolph, Sidney Greenbaum, Geoffrey Leech, and Jan Svartvik. (1985) *A comprehensive grammar of the English language*. London: Longman.
- Rouchota, Villy. 1998. “Procedural meaning and parenthetical discourse markers.” *Discourse markers: Descriptions and theory*, ed. by Andreas H. Jucker & Yael Ziv, 97–126. Amsterdam, Philadelphia: J. Benjamins
- 内田聖二・西山佑司・武内道子・山崎英一・松井智子 (2008) 『思考と発話』 研究社
- 司紅霞 (2009) 『現代漢語挿入語研究』 東北師範大学出版社
- 曹爽 (2014) 「話語解釈標記“这么说吧”」『広西師範大学学报』第 50 卷第 5 期 pp.126-131
- 龐龍傑 (2019) “The Semantics and Pragmatics of the English Parenthetical Expression “*so to speak*””. *Journal of Cognitive Linguistics*. (印刷中)